

## 雌阿寒岳とオンネトーエリア

北海道東部にある阿寒摩周国立公園は 1934 年に設立された、日本で最も古い国立公園の 1 つです。

阿寒摩周国立公園の南西部に位置する雌阿寒岳とオンネトーは、無骨な風景と自然が美しい遠隔の地が人々を惹きつけています。一帯の風景は 5 万年前の度重なる火山噴火によって築られました。

雌阿寒温泉は雌阿寒岳の麓の南西部に位置するエリアで温泉宿や駐車場があり、雌阿寒岳へ続く登山口があり、山頂に続いています。その他の道も森を抜けるとオンネトーに続いています。阿寒湖畔にある阿寒湖温泉街から車で 20 分ほどです。

オンネトーはこのエリアの見所の 1 つです。東側の湖畔の周りには遊歩道があり、雌阿寒岳と阿寒富士の両方を背景にした湖の景色が見られる木造の展望台が設置されています。水の色は天候や風、時間帯によって変化するため五色沼という愛称が付けられています。湖の南側にあるオンネトー野営場は周辺探索に出かける便利な基点となります。

オンネトー野営場の近くにある湯の滝は珍しい温泉の滝で、マンガンが堆積する稀な場所でもあります。多種多彩な動植物が特徴的です。クマゲラやエゾシカ、エゾシマリス(アジア圏では唯一の在来種)を垣間見ることができます。また、雌阿寒岳南西部の麓には、アカエゾマツが広がる森があり、雌阿寒岳の傾斜には固有種の植物を見つけられます。

オンネトーから雌阿寒温泉までの道は雪のため、12 月から 4 月の間は閉鎖されていますので注意しましょう。湖へはスノーシューやクロスカントリースキーでは行くことができます。

このエリアには公共交通機関がないので、自分で移動手段を手配する必要があります。